

「中国地域経済の概況 2025」の記載内容（主な項目）

< I 経済の概況 >

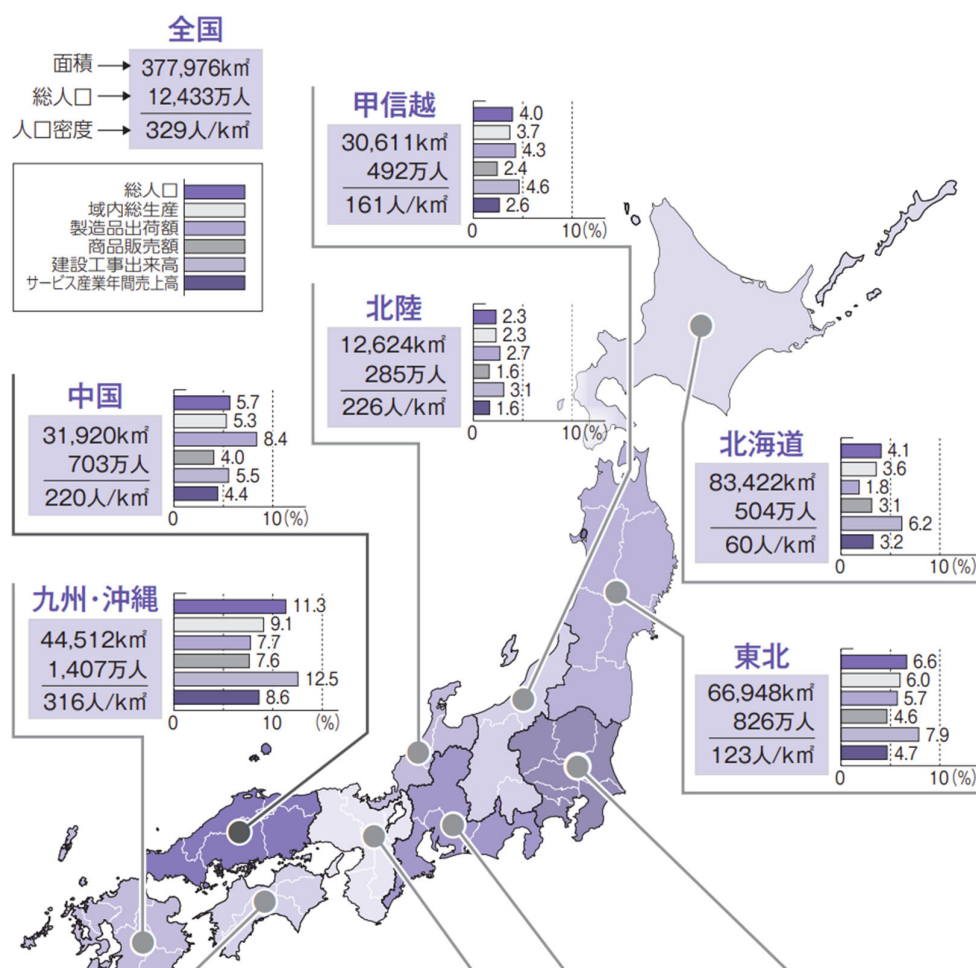
○2024 年の中国地域経済

2024 年の中国地域経済は、企業収益の改善が景気を下支えしたものの、物価上昇の影響を受け、景気は緩やかな持ち直しにとどまった。

○中国地域経済の特徴

中国地域の人口・経済規模の全国シェアは5%台であるが、製造品出荷額は8%超であり、ものづくりの拠点となっている。

【地域別の地域経済指標の全国シェア（一部抜粋）】



資料：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」、内閣府「県民経済計算」、国土交通省「建設総合統計」

<Ⅱ 分野別の概況>

○人口

2024 年の人口動態をみると、自然増減（出生－死亡）のマイナス幅が拡大したことなどから、人口の減少率は 1995 年以降で最大となった。中国地域からの転出超過数は、コロナ禍の 2020 年に一旦減少したものの、2021 年以降は再び拡大の傾向がみられる。

○観光

2024 年の中国地域の外国人延べ宿泊者数は、入国制限解除の影響等から、238 万人泊（前年比 67.6%増）となり、過去最高を記録した。外国人宿泊者の地域別構成比をみると、欧米豪 9 か国（アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、オーストラリア）が、38.1%と全国（23.8%）を大きく上回っている。

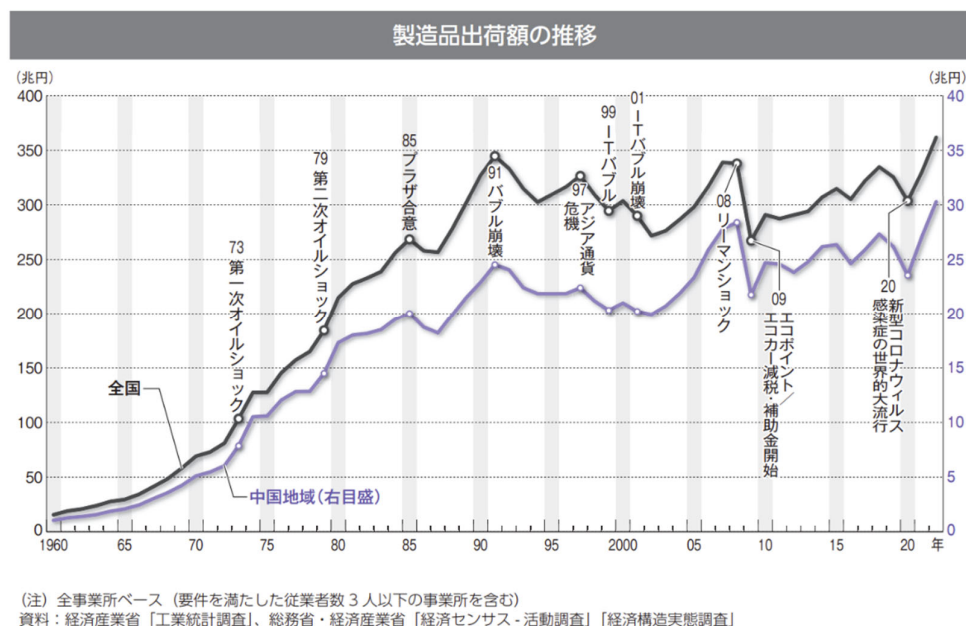
<Ⅲ 地域振興の概況>

○都市機能整備

広島市では、商業施設「minamoa」やシネマコンプレックスなどで構成される新たな広島駅ビルが開業したほか、日本で初めて路面電車を高架で JR 駅ビルの 2 階に進入させる「駅前大橋ルート」が開業した。鳥取市は、JR 鳥取駅の再整備の基本方針等をまとめた「鳥取駅周辺再生基本計画」を策定。また、美作市や海士町をはじめとした中国地域の各地で、役所・役場新庁舎の再整備が進んでいる。

<Ⅴ グラフで見る中国地域の長期推移>

人口、経済・産業など主要統計について、長期的な経年変化をグラフで示している。



以 上